

KUSA NEKKO BOOK

GRASS ROOTS



くさねっこ

くさねっこブック

お問合せ

草津川跡地公園マネジメント・パートナーズ

〒525-0032

草津市大路二丁目4番11号

TEL:077-562-5010 FAX:077-562-5092

受付 9:00~17:00(火曜・年末年始を除く)

発行 草津市 草津川跡地整備課

発行日 平成29年3月 初版 令和6年3月 第3版

協力 草津川跡地公園管理運営会議 市民活動部会

編集 studio-L

草津川跡地公園から
広がる市民活動

目次

- 02 ---- 草津川跡地公園から広がる市民活動 くさねっこ
- 03 ---- 草津川跡地プロジェクトとは
- 05 ---- これまでの取り組み
- 07 ---- 草津川跡地公園について
- 09 ---- くさねっこの3つのコンセプト
- 11 ---- 楽しく活動するためのくさねっこのルール
- 17 ---- くさねっこの活動イメージ

草津川跡地公園から広がる市民活動 くさねっこ

草津市内を東西に流れていた旧草津川は、町よりも高い位置を流れる「天井川」として全国的に有名でした。川としての役割を終え、平成29年4月、跡地として広がるその空間は草津川跡地公園として生まれ変わりました。

川の流れを 人の流れへ

どうすれば、魅力的な公共空間になるの？

その問いの答えとして、主体的に活動する市民を増やすことで、新しい公共空間として生まれ変わる跡地空間を、さまざまな人が使いこなす「生きた場」にしようと考えました。

市民活動団体や個人のさまざまな活動が展開され、訪れた人はどなたでも参加することができる。市民が手づくりで行う活動なので規模は小さいけれど、日常的にいつ訪れてもだれかが楽しく活動している。そんな場所なら、だれもが訪れたいと思う魅力的な空間となるのではないのでしょうか。

そして、草津川跡地公園で開催されるプログラムは、個人的な活動やグループ内の閉じた活動ではなく、だれでもその活動に参加することができ、地域や私たちの暮らしがちょっと良くなるようなものであれば、それはとても素敵なことだと思います。

そんな活動が草津川跡地公園から広がっていくことで、草津のまちが抱える課題を楽しく解決することにつながっていくからです。

「くさねっこ」は、このような草津川跡地公園から広がる市民活動の愛称。市民のみなさんとの話し合いの中から生まれたものです。川の跡地にまかれた市民活動の種が芽吹き、草が根を張るように、つながりが広がってほしいという想いがこめられています。

草津川跡地プロジェクトとは

→ 草津川跡地プロジェクト

草津川跡地は、平成14年に旧草津川が廃川となり生まれた広大な空間です。その活用について、さまざまな議論を経て検討された結果、跡地として広がる空間を将来にわたって、さまざまな活動ができる場となるよう、市民のみなさんと一緒に進めていく「草津川跡地プロジェクト」がスタートしました。

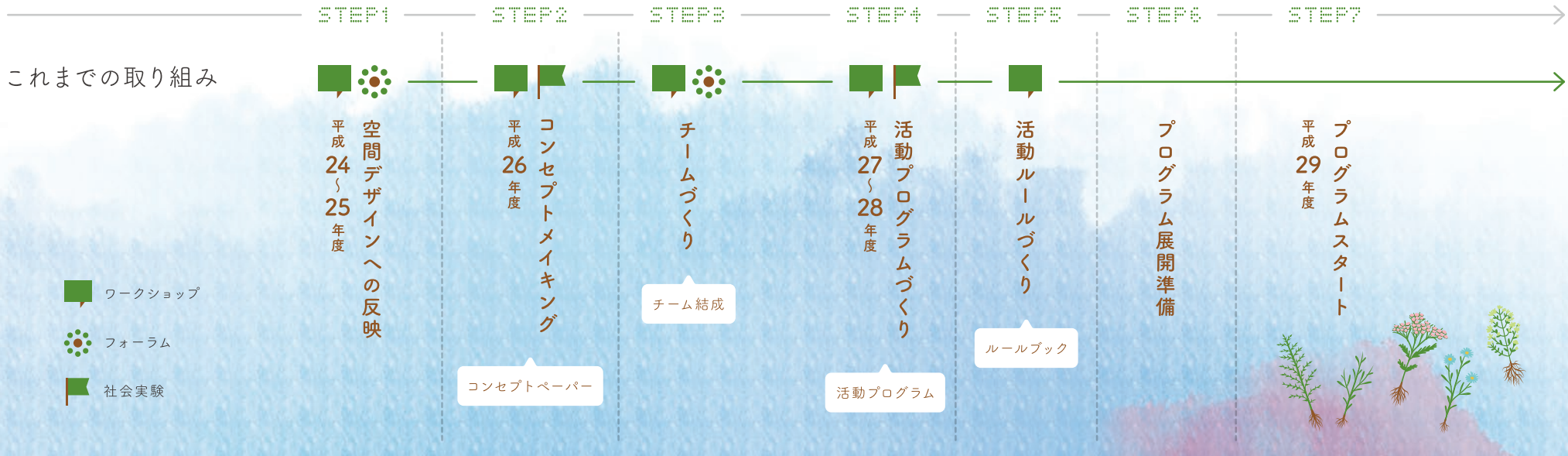


川の
流れを
人の
流れへ



草津川跡地プロジェクトとコミュニティデザイン

草津川跡地プロジェクトは、「景観デザイン」「コミュニティデザイン」「防災・都市環境デザイン」の3つのデザイン手法を導入し、プロジェクトを進めてきました。特に「コミュニティデザイン」では、市民のみなさんに永く利活用される空間となるよう、計画策定の段階から市民のみなさんが参加し、活動の担い手、活動のしくみづくりなど、にぎわいのある空間が育つよう計画に反映してきました。そして、草津川跡地公園のオープン以降も、みんなで作っていきっていく取り組みとして「コミュニティデザイン」の活動を続けていきます。



●STEP1 空間デザインへの反映

平成24年度から草津川跡地の活用を考える市民ワークショップがスタートしました。まずは、空間の基本設計に向けてワークショップを開催。多くの参加者から出された意見をまとめ、空間デザインに反映しました。

●STEP2 コンセプトメイキング

将来の草津川跡地がたくさんの市民のみなさんが利用できる場となるように、草津川跡地で展開していく市民活動の活動コンセプトを話し合うためにワークショップを開催し、草津川跡地で展開する市民活動の愛称「くさねっこ」と、3つの活動コンセプトをまとめました。

→ ナイトピクニック

平成26年、当時の草津川跡地空間を利用できる最後の機会に、ワークショップに参加されている市民のみなさんが、実際の屋外空間を舞台にプログラムを開催する社会実験を行いました。そして、その結果をコンセプトのブラッシュアップにつなげていきました。

●STEP3 チームづくり

講座を通じて楽しく活動する方法を学ぶ「くさねっこカレッジ」を開催。新たに市民活動を始めたばかりの方々、これから活動を始めたい方を対象に、楽しく市民活動を展開するためのチームづくりを進めていきました。



●STEP4 プログラムづくり

「くさねっこカレッジ」で生まれた活動チームと、草津ですでに活動されている市民活動団体のみなさんと一緒に、草津川跡地での活動に向けたプログラムづくりを行っていきました。まずは、草津川跡地公園での活動を想定した社会実験である「くさねっこ文化祭」にむけて、全体ワークショップやチームミーティング、準備会など、開催に向けた取り組みを通じて検討していきました。

→ くさねっこ文化祭

草津川跡地のオープン前に跡地空間での活動をイメージした様々な企画を、多くの方に向けて披露し、市民活動のルールづくりなどに活かす取り組みとして開催。企画から準備、運営まですべて手づくりで進め、文化祭当日は約1,000名の来場者を迎えました。

●STEP5 活動ルールづくり

くさねっこ全体の運営を考えていくために「くさねっこ運営チーム」を結成し、月に1度、運営会議を開催し、くさねっこで楽しく活動していくためのルールを検討していきました。また、「くさねっこDAY」に向けた説明会や、ふりかえり会など、全体ワークショップも合わせて開催し、検討を重ねていきました。

→ くさねっこDAY(プログラム展開準備)

平成28年7月から11月の5か月間、月に1回、草津川跡地オープン前に日常的な活動をイメージしたプログラムを開催する社会実験。この活動を通じて、市民活動のルールづくりやしくみづくりに活かしていきました。



草津川跡地公園について

平成29年4月、草津川跡地の整備区間全長約7kmのうち、優先整備区間の区間2と区間5が草津川跡地公園としてオープンしました。

公園の愛称は区間2が「ai彩ひろば(あいさいひろば)」と区間5が「de愛ひろば(であいひろば)」です。

「ガーデンミュージアム」というコンセプトのもと、まちなかと琵琶湖をむすび、人と人をつなぐ全国に類を見ない草津ならではのオンリーワンの魅力空間を目指し、さまざまな市民活動(くさねっこ)の取り組みを草津川跡地公園を舞台に広げていきます。



公園の運営

草津川跡地公園は、人と自然がつながる公園として、「緑」「市民活動」「事業者」が連携して管理・運営を行っていきます。





草津川跡地公園が、将来にわたってさまざまな活動ができる空間となるよう、どんな使い方ができるか、どんな空間だと市民が利用しやすいかなど、市民のみなさんと話し合いながら、空間デザイン設計、運営のしくみやルールづくりなど、草津川跡地プロジェクトを進めてきました。そんな話し合いの中で、市民のみなさんと一緒にまとめた草津川跡地での市民活動のコンセプトです。

くさねっこの
3つの
コンセプト



1 みんなの想いが集う場にしよう

誰もがいつでも、ふらっと“みちくさ”をするようにここを訪れる、自然と足が向いてしまう場所。みんなが思い思いに時間を過ごす。のんびりすることも、みんなでわいわいすることも。だれかがいつもいるから、友達ができたり、趣味が見つかるかもしれない。今度ここに来たら何をしようか、みんながいつも考えてしまう、そんな身近な場にしていこう。



2 新しい草津のシンボルにしよう

川の跡地を使ったこんなに細長い公園はなかなかない。草津にしかないこの空間を、次代の子どもたちに自慢できるような場所へ。新たな市民活動の種はまかれたばかり。これから次々に芽を出し、花を咲かせていく。そしてここに来たら、草津に来たなって思える。そんなみんなの記憶に刻まれた草津のシンボルとなる場にしていこう。



3 草津の自然や文化の種を大切に育てよう

子どもだって、おとなだって新しいことを学ぶときはどきどき、ワクワクするもの。ここに来ればそんな体験がたくさんできる。草津川から始まった歴史や文化、自然を学んだり、絵を描いたり、写真を撮ったり、少し芸術に触れたり。でもそれは背伸びしないでできるもの。それぞれが自分の好きなカタチを目指せばいい。そんな学びの場にしていこう。

楽しく活動するためのくさねっこのルール

くさねっこでできること

くさねっくに登録すると、他の団体の活動情報やプログラム参加募集などの情報が届いたりパフォーマー、チームメンバー、公園の利用者などと新たなつながりが生まれます。



Performer

パフォーマーとして活動する

楽器の演奏や健康づくり、体験ワークショップや講座など、草津川跡地公園を利用するさまざまな方が参加できるプログラムを実施します。



くさねっこプログラム開催特典

プログラム企画のためのサポート／くさねっこ備品（丸太のイス・屋台など）が利用できる／プログラム実施における広報支援／教養室利用料金の減免

Team members

チームメンバーとして活動する

くさねっこには、プログラムを開催するパフォーマー以外にも、さまざまな参加方法があります。

プログラムの開催を支援したり（サポーター）、くさねっこの取り組みを SNS などを通じて発信し広げていく（情報発信）など、その役割に応じてチームが結成されています。

それぞれの役割を楽しく実践しながら、草津川跡地公園を盛り上げていきます。



草津川跡地公園管理運営会議と 市民活動部会について

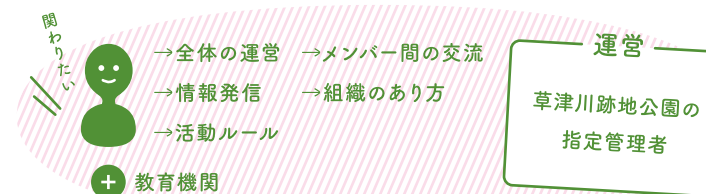
草津川跡地公園管理運営会議について

草津川跡地公園のにぎわいとるおいの創出に向け、草津川跡地公園に隣接する地縁団体、草津川跡地公園で活動する市民活動団体や事業者、市内企業、地域の教育機関等が、相互に連携および調整しながら合意形成を図っていくための会議です。



市民活動部会について

パフォーマーやチームメンバーの中から、くさねっこ全体の運営に関わりたいメンバーで結成されるものです。また、その他、教育機関などが部会のメンバーに加わり、情報発信の方法や活動ルール、メンバー間の交流や組織のあり方などについて検討していく役割を担います。そして、草津川跡地公園の市民活動コーディネーターにより運営され、他のパフォーマーやチームメンバーを巻き込みながら、くさねっこの活動全体を支えています。



くさねっこを 楽しむための

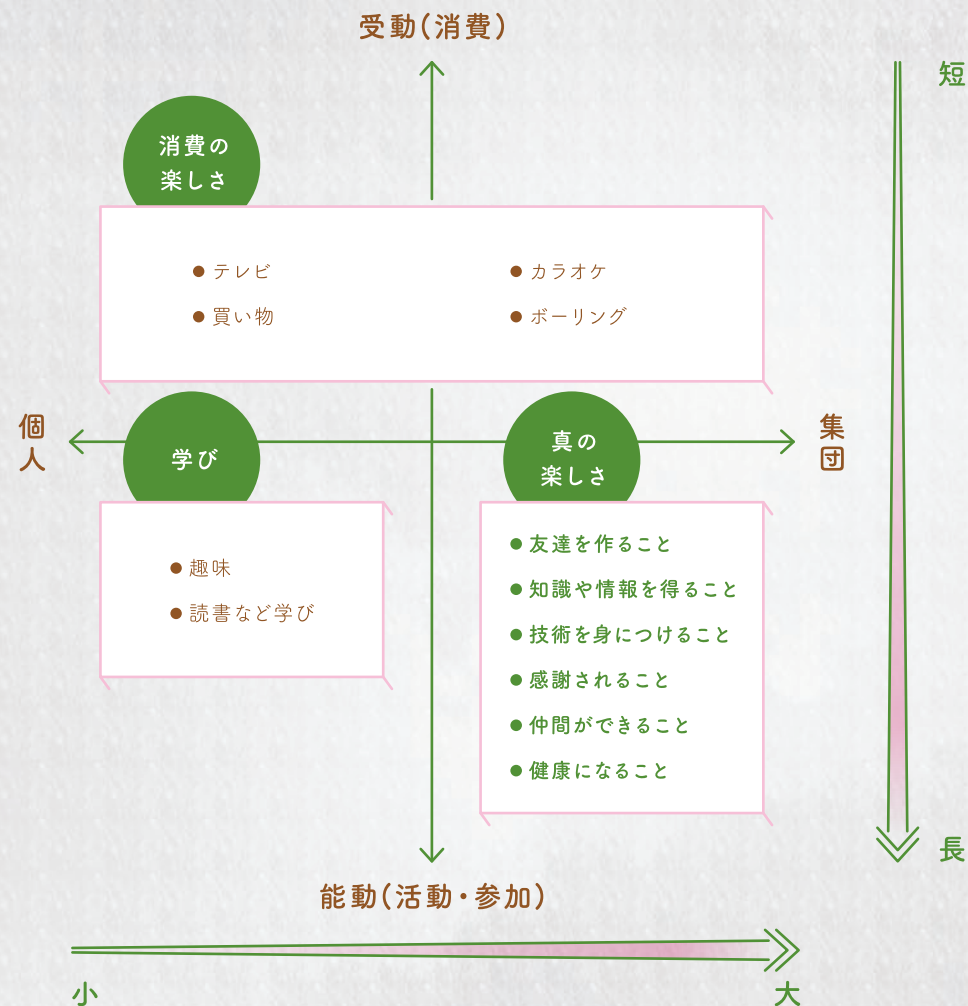


草津川跡地公園から広がる市民活動「くさねっこ」で、何よりも大切にしていることは「楽しさ」です。「くさねっこ」の活動にはさまざまな楽しさがあります。そして、その楽しさは、活動する市民のみなさん一人ひとりが自分自身で生み出していくものです。

「楽しさ」には、テレビを見たり、仲間とカラオケに行ったり、消費を通して得る受動的な「楽しさ」と、学んだり何かをつくりだしたりすることで得る能動的な「楽しさ」があります。同じ「楽しさ」でも、受け取るよりも自ら生み出すもののほうが継続し、一人で感じるより、大勢の仲間と共有するほうが大きくなります。

くさねっこの「楽しさ」は、まさに、みんなで生み出す「楽しさ」。

楽しいと思えることを次から次へと生み出すことができる、そんな力を身につけることができれば、その人は一生楽しむことができます。くさねっこは、そんな「楽しさ」を生み出す力を草津川跡地公園を舞台に広げていきます。



くさねっこを 楽しむための 5つの作法

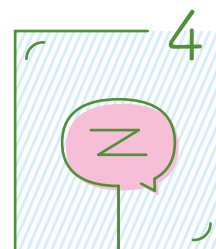
みんなで「楽しさ」をうみだしていくために。くさねっこでは、大切にしたい5つの作法があります。これは、草津川跡地プロジェクトのワークショップや社会実験での市民のみなさんとの話し合いの中で生まれた活動ルールです。



1 みんなでつくる

例えば

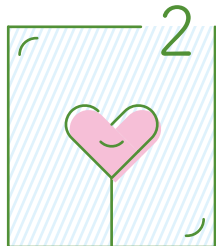
それぞれの個性、多様性を認め合おう
誰もが安心して楽しめる場にしよう
助け合ったり、協力したり、コラボレーションを大切にしよう



4 出会いの場をつくる

例えば

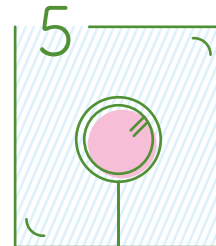
陽だまりとそよ風のあるところに集まろう
会話がうまれる工夫をしよう
笑顔であいさつを交わそう



2 暮らしをちょっとよくする

例えば

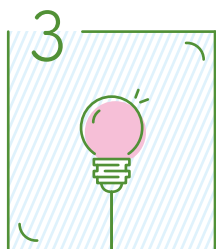
ワクワクする気持ちと笑顔を広げよう
困りごとをみんなで楽しく解決しよう
美味しいお茶の時間を楽しむような日常を演出しよう



5 草津らしさを大切にする

例えば

草津らしさって？みんなで語り合おう
草津の魅力を探そう、伝えよう
「急がば回れ」ちょっと一服してみよう



3 チャレンジする

例えば

できない理由を探すより、できる工夫を発明しよう
自分や仲間、そして誰かの夢を応援しよう
日々の活動の延長線でほんの少し挑戦してみよう

column

「急がば回れ」の言葉が生まれたのは、現在の草津市矢橋町のあたりです。語源は、宗長（室町時代の連歌師）の歌「もののふの矢橋の船は速けれど急がば回れ瀬田の長橋」。当時、京都へ向かうには、矢橋から湖上を舟で大津に行くか、瀬田の唐橋（長橋）を回って陸路に行くかを思案したことに由来します。舟で渡る方が近くて速いのですが、比叡山から吹き下ろされる突風（比叡おろし）により危険な航路であったため、天候次第で舟が使えないことを考慮すれば、時間がかかっても陸路に行く方が安全で着実だったのです。

つくる

木の実や木の枝、ローズマリー、ラベンダーなど自然素材を使ったクラフト、小物やアクセサリーづくりなど。得意なこと、好きなことをいかして、お友達やご近所さん、公園にお散歩に来た人と一緒に、公園の片隅でものづくり。そんな気持ちで手作りワークショップを開催したら、得意なことがもっと得意になったり、好きなものが一緒に気の合うお友達がたくさん増えるかも。ものづくりの楽しさをたくさんの人と共有したり、一緒につくりあげていきましょう。



活動のヒント

草津川跡地公園には、フォレストガーデンやロックガーデンなど、さまざまな形式のガーデンでたくさんの植物が育てられ、また、グラスガーデンやせせらぎなどが整備されています。草木や水、風、太陽の光。そんな自然素材をふんだんに活用して楽しいプログラムを展開してみましょう。

カテゴリ

パフォーマー

Performer

まなぶ

知らなかった知識や考え方を知ること、理解することは、とっても楽しい。草津には草津の歴史や、昆虫や植物の知識、ヨガや楽器の演奏など、さまざまな知識や技術をもっている方がたくさんいます。また、特別な知識でなくても知りたいこと、学びたいことはたくさんあります。例えば、いつものお料理のちょっとした工夫や豆知識。そんな、ちょっとしたことをお友達やご近所さん、公園にお散歩に来た人が学べるミニ講座を開いていきましょう。



活動のヒント

くさねっこは草津川跡地公園という野外空間を舞台にした市民活動です。野外空間の魅力は、春、夏、秋、冬と季節によってさまざまな変化があること、そして、太陽が昇り、陽が沈むように、一日でも時間が経つにつれ空間の表情が変わっていくことです。日中だけでなく、ナイトピクニックなど夜を楽しめるような、野外空間の特性を活かしたプログラムも素敵です。

カテゴリ

パフォーマー

Performer

演じる

音楽やダンス、ファッションなど。

みんなそれぞれ大好きなものがあり、それぞれで楽しんでいます。

でも、そんな楽しみをお披露目する場があると、

ぐっと日常が華やぐかもかもしれません。

たくさんの方が訪れる草津川跡地公園を舞台に、

ちょっと勇気を出して大好きなことを披露してみましょう。



活動のヒント

草津川跡地公園は、市民のみなさんと一緒にそこでやりたい活動アイデアを考えながら、そのアイデアを実現できるように工夫してデザインされた公園です。さまざまなプログラムを展開してみましょう。

カテゴリ

パフォーマー

Performer

支える

たくさんの方に草津川跡地公園を訪れていただき、楽しんでもらうために。

くさねっこの活動全体を支えるのも、くさねっこの大切な活動です。

くさねっこプログラムへ案内したり、公園の魅力や楽しむ方法を教えてくれたり、みんなが安全に楽しめるように見守っていたり。それは、草津が大好きで、草津川跡地公園をみんなに愛される場所にしたいから。

そうして楽しみながら、くさねっこの取り組みを支えていきましょう。



活動のヒント

草津川跡地公園には市民活動コーディネーターが公園内にあるにぎわい活動棟にいますので、くさねっこのことなら気軽に相談することができます。また、にぎわい活動棟には教養室があり、そのスペースを使ってプログラムを開催することもできます。野外空間だけでなく、屋内施設も使えると活動の幅もぐっとひろげて考えることができます。

カテゴリ

チームメンバー

Team members

くさねっこの活動イメージ

発信する

草津川跡地公園を舞台に、市民の手作りの活動がたくさん生まれることは、とても素敵なことです。

もっとたくさんの人に草津川跡地公園の魅力を知ってもらいたい、伝えたい。くさねっこプログラムの情報や、日々の草津川跡地公園の様子、くさねっこに関わるさまざまな取り組みを発信していきましょう。



活動のヒント

草津川跡地公園にはレストランやホットヨガやランニングができるスポーツ施設などの商業施設エリアKUSATSU COCORIVA(クサツココリバ)があります。食事に来たり、友達とお茶したり、ホットヨガに来たり、公園に遊びに来る目的だけでない、さまざまな方が利用する公園です。くさねっこのプログラムも公園というイメージにとらわれず、さまざまな活動を展開していきましょう。

カテゴリー

チームメンバー
Team members

交流する

だれでも気軽にあいさつしあえたり、ちょっとした会話が生まれたり。くさねっこのプログラムを通して趣味が見つかったり、友達になれたり。草津川跡地公園を訪れることをきっかけに、子どもからお年寄りまで、さまざまな人と人がつながれる。規模は小さいけれどもいつもだれかがいるような、みんなの居場所をつくりましょう。



活動のヒント

草津川跡地公園には大きな広場があります。草津川跡地公園の顔となる場所で、たくさんのプログラムと一緒に開催したり、マルシェのようなイベント、空間の地形を活かした階段状ののり面がある場所は客席のような使い方ができるので、ステージとして活用することも。みんなで一緒に大きなイベント企画にも挑戦してみましょう。

カテゴリー

パフォーマー
Performer , チームメンバー
Team members